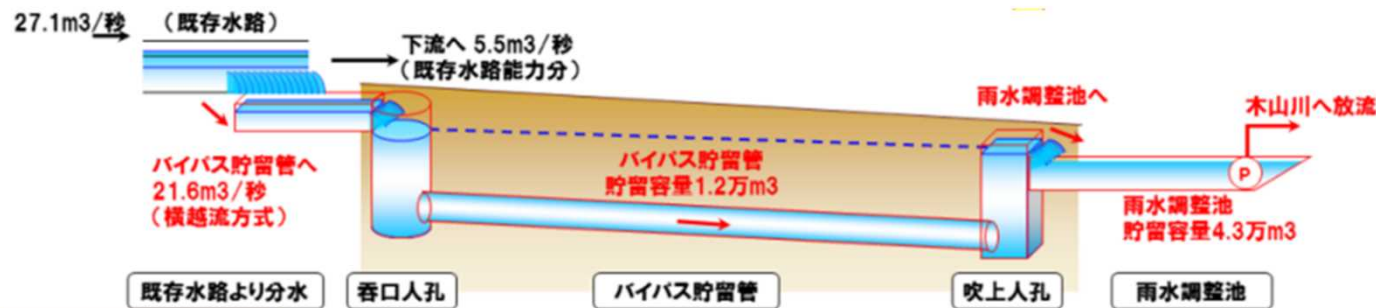


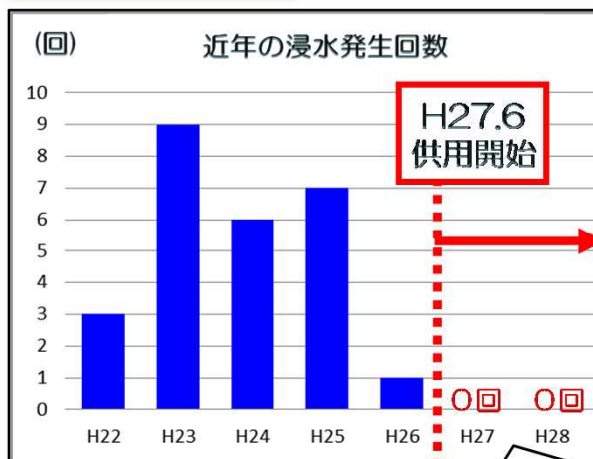
下水道施設整備の効果(熊本市、雨水貯留施設の整備による効果)

- 熊本市内の浸水被害頻発地域において、平成21年度から貯留管等を整備。
- 平成27年6月に施設を供用開始して以降は、浸水被害は発生していない。
- 平成28年6月の豪雨においても、平成25年8月の豪雨の1.5倍の時間あたり雨量であったが、家屋の浸水被害や道路冠水は発生しなかった。

事業内容



整備効果



施設供用開始後、
浸水被害は発生していない

過去の道路冠水状況



整備前 H25.8 26.5mm/h

貯留管整備後状況



整備後 H28.6 39mm/h